

平成 29 年度 第 14 回 名城大学情報会評議会 議事録

平成 29 年 5 月 13 日 司会:山本拓弥

1. 第 13 期事業報告 (会長:山本)

- 入会申込書に今後も進路先を書くようにする
- 情報会総会が 1 番上にあるのは役員認定が行われるため
- 評議委員会は情報会総会の前に行われるため、表には書かれていない
- 第 13 期事業報告について承認を得た

2. 第 13 期情報会決算報告 (会長:山本、監査:池崎)

- 一般会計の下部組織助成金と卒業記念品代を特別会計の雑収入、雑支出にも記入してあったが、一般会計か特別会計どちらかにした方がよいのでは
- 総会の資料には特別会計の雑収入、雑支出は記載しない
- 会議費の予算執行率が低いのは留年している人もいて人数が予定と違ったため会長交際費の予算執行率が低いのは会長が懇親会に行くことができなかったため
- 一般会計について収入も支出も、予算金額の合計が間違えているため訂正する
- 第 13 期情報会決算報告について承認を得た

3. 第 14 期事業計画(会長:山本)

- 準会員支援行事のベストプレゼンターは院生の負担が大きいため辞めたが、追加で何かやろうとは考えていない
- 今後は更に広報活動に力を入れる予定
- 同窓会支援制度について 13 期申請なかったが計画案には追加する
- 第 14 期事業計画について承認を得た

4. 第 14 期予算案(会長:山本)

- 情報会正会員予定人数を B4 全員(140 人)に変更したため、卒業記念パーティの支出が増加した
- 会議費は使われてなかったため予算を減らした
- 他の議案との整合性を確認する
- 正会員支援について現在は同窓会支援の申請が来ていない
- 情報会は正会員支援のための組織だから、すべての研究室からの申請がある想定で予算を考えている
- 新規正会員の集まりが悪かった場合のことを聞かれたらどうするかを考えておく
- 下部組織助成金、卒業記念代は理工同窓会の予算はまだ分からないため、情報会総

- 会には間に合わないと考えられるため、例年通りとした
- 第14期予算案について承認を得た

5. 次年度役員認定について(会長:山本)

- 苗字と名前間のスペースの体裁が整っていない
- 西尾さんと梅山さんのフォントが異なる
- あだちさんの漢字が異なる
- 理工同窓会出向者の評議員は全員連絡が取れているわけではない
- 評議員については継続審議の形にして来年に変更する
- 副会長の任期は2年のためH28の2人は名前だけ残してある
- 総会の際には優先順位を決めて指揮系統が整っていることを示す必要がある
- 卒年は情報会総会にあわせて、学部の卒年を示している
- 次年度役員認定について承認を得た